



APAY eNews

翻訳: 永岡美咲 (日本YMCA同盟)

総主事デスクより …世界YMCA同盟とアジア・太平洋YMCA同盟

3月のアジア・太平洋YMCA同盟 (APAY) に続いて4月初めに世界YMCA同盟の常務委員会がジュネーブで開催されました。今回は世界YMCA同盟レベルでのニュースを紹介します。

世界同盟常務委員会には年齢、性別、地域のバランスを考え、選考された約30名のメンバーがいます。アジア・太平洋、アフリカ、ヨーロッパ、中南米、アメリカ、カナダ、中東の7つの地域ごとに定数があり、常務委員が選挙で決められます。アジア太平洋地域からの代表は、ヘレン氏 (ニュージーランド出身で世界同盟の財務理事)、常務委員はクララベル氏 (フィリピン)、オリバー氏 (シンガポールのユース)、長尾氏 (日本)、パプー氏 (バングラデシュ)、そして APAY 会長の朴氏 (韓国) の6人です。

世界同盟の方針は、一言で言うなら「若い人たちのエンパワーメント」を挙げています。そのための運動強化 (Movement Strengthening) であり、資金獲得 (Resource Mobilization) であり、ガバナンスの強化となります。世界最大の青少年団体でありながら、「YMCAは何をしているの?」ということが十分に理解されていないという現状があります。みんなYMCAという名前は知っていても、YMCAが世界で何をしようとしているかという共通のメッセージが見えにくく、これからは意識的に発信する必要があるということが確認されています。

世界同盟では、30歳未満の若い常務委員が1/3選考される規則になっています。前総会期 (2007-10) には、ユース委員会が設けられ、ユースに関することを検討し、ユースフォーラムを開催しました。しかし、今総会期 (2011-14) には、8人のユース委員がいますが、ユース委員会は組織せず、新たに作った3つの委員会 (財務委員

会、ガバナンス委員会、ブランドとイメージ委員会) に関心に応じて参加をし、ユースの声を反映させようと努めています。

思い出すのが、前回2006年南アフリカで開催された世界YMCA大会での発言で、大喝采でこの発言が迎えられました。「8年後、2014年に開催される世界大会の時にはユースフォーラムを別に開催する必要はない。なぜなら、2014年の世界大会の参加者の過半数はユースとなるからだ」と言うような発言でした。まさにYMCAでは、若い人たちの発言や思い、YMCA運動への参画と貢献がシニアメンバーと同様に、尊重されるようにならなくてはならないということなのです。

世界同盟の方針をいかに地域同盟や各国同盟の方針と一体化させていけるかということも考えました。YMCAは世界最大の青少年団体です。しかし、YMCAを外から見ると、それは、わたしたち内部の者が持ってほしいというイメージとは大分異なっているようです。YMCAそれぞれが、共通のメッセージを発信していないからです。世界運動としてどういうメッセージを伝えようとしているのか、いわゆる共通のブランドは何か。その問いへの対応が、



APAYユース委員Oliver Loke氏が世界同盟常務委員会においてYMCA運動に影響を与える大きな潮流について発表中。Loke氏と世界同盟Ken Colloton氏がプレゼンテーションを行いました。

今後4年間の世界運動を担う世界同盟の課題となります。世界同盟は1つ、それが7つの地域からなり、さらに125カ国、そして10,000以上のコミュニティにYMCAが存在しています。そしてYMCAに関する人たちの数は世界中に4,500万人います。すごい団体です。これらがそれぞれ独立しており、自律的な方針を持っており、それでいて、YMCAとして共通の意識や強いアイデンティティをもっているというのがYMCAの特徴でもあります。

世界同盟が言う全世界のYMCAの共通した方向というのは、若い人たちのエンパワーメントということです。地球市民教育を行い、環境問題へのチャレンジ、宗教間対話の促進、若者の就労を助ける取り組み、ジェンダーへの意識開発など、さまざまな課題を、若者たちを巻き込み、若者たちによる取り組みを推進すること、これが若い人たちのエンパワーメントへの具体的な方向となります。

これから4年間の世界同盟、地域同盟の方向にそって多くのローカルYMCAが共通の目標である「若い人たちのエンパワーメント」に向かって歩みだすことを願っています。

(山田公平)

アジア・太平洋YMCA大会リマインダーと最新情報

■参加申込登録

各国YMCAは7月15日の締切前に登録用紙を提出することが望まれています。航空機・宿泊などの要望に応えるためにも、直前の登録はご遠慮ください。

※日本では、日本YMCA同盟より、加盟YMCA宛にすでに詳細要項をお送りしています。同盟への申込は7月5日(火)までです。詳しくは所属YMCAにお尋ねください。

■選挙への立候補

2012年～2015年の4か年の理事長、副理事長(4名)、と財務理事の役職を選出の立候補届出は、2011年6月20日に締切となります。

■ウィットネス・ルーム

ウィットネス・ルームを担当する、各国YMCAが確定しました。来る4か年の重点項目と関連して、アジア・太平洋地域において選ばれたすばらしいYMCAの働きを共有する場です。これまでの私たちの働きが、地域においてどのくらい適切で、また役立ってきたのか、共有し、学び、考察する機会です。

■コミュニティ・エクスポージャー

現実と課題を考察するコミュニティ・エクスポージャーが最終決定の段階に入っています。オルタナティブ・ツーリズムに関するエクスポージャー・モデルとなる予定です。本大会参加登録者の方々には、エクスポージャー登録用紙をお送りします。大会会場から2時間程度かかる場所もあり、移動手段の確保のためにも、大会開始前に必ずご登録ください。

■戦略対話

「ジェンダー」、「リソース・モビリゼーション」、「環境」、「オルタナティブ・ツーリズム」、「YMCAリーダーシップと組織運営」、「ユースのエンパワーメントと参画」、「運動強化」という7つの分野に関する戦略対話は、次の4か年(2012年～2015年)において、私たちの使命の実現へ導くものとなるでしょう。

(詳細については、次号 eNews に掲載予定です)

◇Facebook ファンページ◇

APAYのFacebookファンページを開設しました。「Asia Pacific Alliance of YMCAs」で検索し、「いいね」アイコンをクリックしてください。ファンページをお持ちの各Yおよび関係団体は、すでにリンクされています。あなたのYMCAに関する情報をFacebookのAPAYファンページでシェアしませんか？

ユースの代表が ユース・アッセンブリーの準備中です

現在まで、ユース・アッセンブリー準備委員会は、9月3日～6日のユース・アッセンブリーにおいて必要とされる手配を入念に行ってきました。このユース・アッセンブリーは、アジア・太平洋地域やその他地域からのユース参加者を100～150名募り、本大会につなげるための会となります。ユース自身をリーダーシップに関する役割や行動に組み入れるために、いくつかの価値観の重要性を表明するべく、ユースの考え方を変えることがこの会の目的です。この目的は、基調講演、4つの課題に関する分科会ワークショップ、サブ・リージョンごとの考察・討論、戦略対話や地域奉仕プログラムといった主要セッションを通して、実現されるでしょう。とりわけ、ユニークで重要なセッションは、APAY リーダーシップ(役員、各国総主事や各YMCAの主要なリーダー)との戦略対話といえるでしょう。

最終段階の準備や詳細の決定をするため、APAY ユース委員の Oliver Loke 氏(ユース・アッセンブリー議長)と Ng Yee Khai 氏(同副議長)は、主管のマレーシアYMCA同盟および、山田公平 APAY 総主事、クリスティーナ・ダローベ主任主事と2011年6月22日～25日にマレーシア・ペナンYMCAで会合を持つ予定になっています。

ぜひ、ユース・アッセンブリーや本大会、あるいは双方にご登録ください！☺

GCE(地球市民育成)ニュース

第1回サブ・リージョン地球市民育成トレーナーズ・トレーニングが、東南アジア地域ではフィリピンで7月4～10日に、南アジア地域ではインドで7月17日～8月1日に開催されます。フィリピンおよびインドの両国同盟は、それぞれマニラのマカティYMCA、ケーララ州のアルワイYMCAを、当プログラムの主管・受入YMCAと任命しました。

インプット・プレゼンテーションやスキル・トレーニング・ワークショップの他、受け入れ地域へどっぷりとつかることや、ホームステイ・プログラムがより有意義な経験と、ローカルな地域における地球市民育成プログラムの実施への参画に役立つものとして企画されています。ご存知のとおり、地球市民育成は、今日のユース・エンパワーメントにおいてきわめて重要な役割を担っています。

参加対象者は、北東アジア地域、および太平洋地域のサブ・リージョンに属する各国YMCAにも拡大されており、上記のいずれかの日程を選択することができます。このトレーニングへの参加登録は現在受付中で、2011年6月10日が登録締切日です。

今年の地球市民育成トレーナーズ・トレーニングをご支援くださった、ワイズメンズクラブ国際協会タイム・オブ・ファスト(断食の時)に感謝申し上げます。

※日本からは東南アジア地域(フィリピンにて開催)のトレーニングにユースを派遣予定です。関心をお持ちの方は日本YMCA同盟までご連絡ください。

運動強化への働き

カンボジアYMCAのPSGメンバーが研修を開催



2011年3月19日～27日、パートナー・サポート・グループ(PSG)の委員の主催により、カンボジアYMCAの常議員、ボランティア、スタッフ対象の基礎研修が開催されました。APAY 特別プロジェクト担当 Richard Kaing 氏によ

る、常議員・ボランティア・委員・スタッフに関する会則・規則に関するフォーラムから始められました。また、参加者には、YMCAが国際的でエキュメニカルな青少年運動であることと、YMCAの必要性についても紹介されました。香港中華YMCAおよび、香港同盟の代表として参加したサニー・ウー氏は、会員に関するセッションで、YMCA会員に関して、使命の理解、奉仕の文化やキリスト教精神の重要性が求められると強調しました。また、同氏は会員の区分や会員募集戦略について発表しました。オーストラリア・パースYMCAのロン・メル氏は、双方向で経験主義的な学習アプローチで、組織運営についての講義を行いました。さらに、カンボジアYMCAにおける現在の制約を考慮したプロジェクト開発に関するセッションも行われました。財務管理と基本的な会計手順に関して、シンガポールYMCAのアンドリュー・レオ氏から講義されました。PSGメンバーは、この研修が参加者のさらなるYMCA理解につながり、今後2、3年にわたってカンボジアYMCAが持続可能な成長をする機会となることを望んでいます。

※日本からは、橋崎頼子さん(APAY ユース委員・神戸YMCA)がサポート・メンバーとして電話会議等に出席しています。

神戸YMCAの125周年記念式典が2011年5月8日に三宮会館で開かれました。東日本大震災の影響が予想されたにもかかわらず、国内外から550人が式典に出席しました。式典では礼拝が守られ、ゴスペル音楽が合唱され、また神戸YMCAの歴史が語られました。水野雄二総主事は、神様への感謝を表するとともに、125周年まで支えてくださった方々への感謝の言葉を述べられました。

APAYは、アニバーサリー・周年行事を迎えるYMCA、特に100周年以上を迎えるYMCAに関する記事を共有したいと考えています。設立100年以上のYMCAの数は、まだわずかです！

各国YMCAにて行われているプログラムの報告、ニュース、情報をぜひお寄せください。このAPAY e-Newsで、各国・地域におけるYMCA活動をシェアすることが、それぞれのYMCAでの新たな活動への動機付けになると考えています。ニュースや情報は、cristina@asiapacificymca.orgまでお送りください。締め切りは毎月第3週です。皆様のYMCA情報を求めています。

YMCAアニバーサリー 神戸YMCA125周年



6月5日の世界環境デーをYMCAグリーン・デーに

6月5日は、国際的に世界環境デー(World Environment Day: WED)と制定されています。今年のテーマは「森:人とともにある自然(Forest: Nature at your service)」です。APAYグリーン・チームによって発議されたように、YMCAグリーン・デーとし、すべての加盟YMCAが、それぞれにふさわしい方法で何かアクションを起こす日としたいと思います。



ブログ (<http://ymcagreenday2011.wordpress.com>) が開設され、このイベントに関する最新情報、資源の共有や、地域のYMCAによるこの活動への対応を紹介しています。APAY は、グリーン・デー運動強化のために各ローカルYMCAと各国同盟にグリーン・チームの組織を要請します。APAY の世界環境デーへの参加は、国連環境計画 (UNEP) によって正式に承認され、評価されています。この運動に参加し、ともに環境に配慮した行動を行いましょ

う！
 ブログをご覧ください！ 各YMCAは、メールを toyi894tuve@post.wordpress.com に送信するだけで、プログラムの計画や報告、写真をブログにアップすることができます。メールの件名が自動的にブログのタイトルとして表示されます。

緊急支援募金

以下は、YMCAやパートナー団体から APAY に寄せられた寄付金額です。このリストには、被災地の各YMCA や同盟に直接送金されたものは含みません(金額の単位は米ドルです)。

■スリランカ洪水 合計\$25,723

カナダ、ドイツ、香港同盟、シンガポール・メトロポリタン、シンガポールYMCA、日本同盟より送金されました。

※日本YMCA同盟は、上記の緊急支援に加えて加盟YMCAより寄せられた募金を6月上旬に送金予定です。

■ニュージーランド地震 合計\$27,900

APAY、アルゼンチン、カナダ、香港YMCA、アメリカ、日本同盟より送金されました。

※日本YMCA同盟は、上記の緊急支援に加えて加盟YMCAより寄せられた募金を6月上旬に送金予定です。

■東日本大震災 合計\$186,318

APAY 緊急支援、オーストラリア、バングラデシュ、カナダ、

ドイツ、香港中華、マカオ、ミャンマーYMCA関係団体、パキスタン・ラホール、フィリピン・バギオ、フィリピン・マニラ、フィリピン・マカティ、フィリピン元理事、シンガポール・メトロポリタン、ニュージーランド、スリランカ、台湾・台北、ウルグアイの各YMCAおよび、ヘルプ・エイジ・インターナショナルよりご支援をいただきました。

APAY は、すべての方々のご支援・援助に心より感謝申し上げます。

※上記、東日本大震災への支援は、APAY を通して5月末現在で受けているもののみです。この他、北米YMCA、中国YMCA、JCCGNC(米国北カリフォルニア日本文化コミュニティーセンター)など海外より多大なるご支援をいただいています。

東日本大震災

日本YMCA同盟 島田茂総主事(The YMCA 巻頭言)より

震災から約2ヶ月半が過ぎました。国内外からの引き続きのご支援に感謝申し上げます。救援復興支援活動においてYMCAのスタッフやボランティアは、ボランティアや団体をまとめるコーディネーターとして高い評価をいただいています。災害時という緊迫した中でも、明るく、人びとの力を引き出し、柔軟に対応できる力と仕える心が評価されているようです。YMCAは、キャンプなど様々な活



動において、小集団で互いに成長しあうグループワークの手法を培ってきました。イエス・キリストによって教えられた愛と奉仕の心で、他者のために祈り、一人ひとりが自発性や責任感を身につけ、民主的な地域社会を築くリーダーシップを育ててきました。

世界のYMCAからは、震災以来お見舞いと支援が続いています。全国のYMCAでも多くの会員や市民から寄付金が寄せられ、街頭募金などによる支援の輪も広がっています。YMCAは、これらの世界や全国から寄せられた寄金を活用して、支援活動を進めています。この未曾有の大震災で私達は、人間のつくり出した科学や技術も自然の前には無力であることをあらためて学びました。この経験が、被災地だけではなく、日本全体が自然と共存し、人類が地球に存続し得る生き方に変えていく機会となることを願っています。そのために、YMCAができることに、挑戦し続けたいと思っています。人びとの安らぎと被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

インターフェイス(宗教間)協カフォーラムとのパートナーシップ-「多様性の中での対話」ワークショップ-

宗教間協カフォーラムは、2011年7月9日～24日までの2週間にわたり、バングラデシュ・ダッカのYMCA研修センターで行われる「多様性の中での対話」ワークショップを主催します。このワークショップは、対話における実践を通し、非常に多様なユースたちが、ともに学び、ともに生きるための出会いの機会となることを目的としています。参加者は、自身のコミュニティにおいて多様性や対立のある状況に対応できるよう、対話への深い関心があり、ある程度の対話の技術を持つことが求められます。異なる宗教・宗派や民族に属し、異なる人生経験・生活の体験を持つ、アジアから20名の参加者とイングランドYMCAから8名の参加者が、この対話に参加します。

参加者募集～平和学校(School of Peace)

アジアの紛争多発地域出身の20～30歳のユースを、宗教間の公正な平和運動を構築する方法を学び、共有し、戦略化するという目的で行われる平和学校(SOP)(日程:2012年2月1日～5月14日)に招待します。この14週間におよぶコースは、周縁化されたコミュニティー間の宗教間の公正な平和への働きに関与した経験のある参加者を必要としています。平和学校は、地域に紛争や不正義をもたらす政治・経済・社会的な要因を明確にし、ジェンダー、民族、年齢、宗教信仰、社会的不平等に配慮し、それらの根本的な原因に効果的に対処するような方法を用いて、地域における活動を創出することを目的としています。申込締切は2011年11月1日です。

ICFは、APAY、アジアキリスト教協議会(CCA)およびドイツ教会開発サービス(EED)の共同運営組織で、2004年、正式に活動を開始しました。

※関心のある方は日本YMCA同盟までご連絡ください。

歴史的なジェンダー会議、インドYMCAで開催

初めて男性と女性が一堂に会しました…

2011年4月29日～5月1日、インドYMCA同盟はYMCANewDehliを主管として、YMCAグレート・ノイダ・プログラム・センターにおいて「インド女性・ジェンダー会議」を開催しました。

インドYMCAのプログラム・女性エンパワーメント・ジェンダー問題担当主事のAnjan Mukherjee氏は、この会議が女性スタッフ、レイリーダー、会員のために毎年開催される一連の会議の8回目にあたり、インドYMCAの歴史の中で初の「ジェンダー会議」といわれるものであると述べています。辺境地域から参加した53人を含む、総勢79人もの男女が、全8つのうち7つのインド国内の地域YM

CAから集い、「ジェンダーの平等:共通の人間らしさへの道」というテーマで、3日間にわたり話し合いを持ちました。サブ・セッションのテーマは、「機会への均等なアクセスの促進」、「YMCA内でのジェンダー主流化とジェンダー統合化」、「ジェンダーに敏感なYMCAを目指して」、「YMC



Aの能力開発促進と女性への権利付与」の4つであり、並行して「安全な世界をつくる女性」というトピックの討議が行われました。市民社会やNGOから著名な専門家が、リソース・パーソンやパネリストとして招かれました。

高名な社会運動家であり、またスポーツ選手でもあるデリー社会福祉委員会委員長の Sudharshan Pathak 女史が、主賓として、この会議の開会宣言を行いました。APAY ジェンダー委員会委員長の Patcharawan Srisilapanan 博士は、印象的な講演を行い、この会議のすべてのプログラムに参加しました。YMCA会員やコミュニティーを対象とした、ジェンダーに敏感なワークショップを開催する必要性を強調し、ローカルYMCAによる地域の女性を対象としたプログラムや、インド同盟の代表を通じた女性保護法案通過を支持するという主張など、他の目標を含む、いくつかの決議を採択しました。インド同盟やニューデリーYMCAの総主事・理事らは、男女双方が集った歴史的なジェンダーの会議開催を祝福しました。
(記事はインド同盟ウェブサイトでご覧になれます)

YMCAオーストラリアの新総主事決定

YMCAオーストラリアは、新総主事としてロン・メル氏を任命したことを報告します。彼はパースYMCAの現総主事であり、オーストラリア国内におけるYMCA運動の主要なリーダーであることが知られています。メル氏は、委員やアジア・太平洋YMCAリーダーシップとかかわった経験や、YMCA運動を次の段階へと導く、すべての会員組織やパートナーと連携した経験があります。同氏は2011年8月にYMCAオーストラリアの総主事に就任します。



メル氏の総主事への任命にお祝い申し上げます。

発行元
アジア・太平洋YMCA同盟
Asia and Pacific Alliance of YMCAs
23 Waterloo Road, 6th floor, Kowloon, Hong Kong
tel. 852-2780 8347, 2770 3168, 2783 3058; fax 852- 2385 4692
e-mail: office@asiapacificymca.org